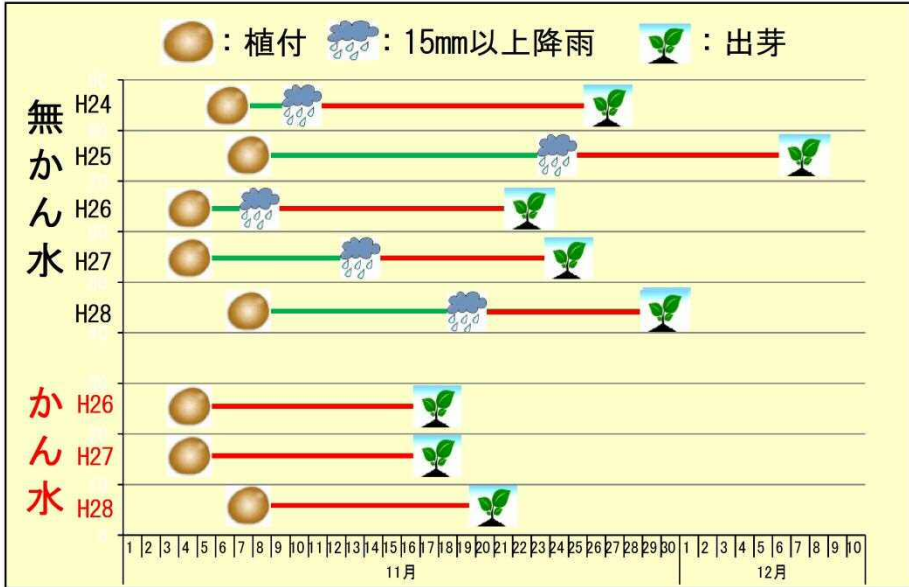


【畑地かんがいの効果】

畑地かんがいの一番の効果は、干ばつ被害の防止と収量の向上や品質の安定による生産性と収益性の向上です。

○ばれいしょ栽培でのかん水効果

植付後かん水による出芽に対する効果



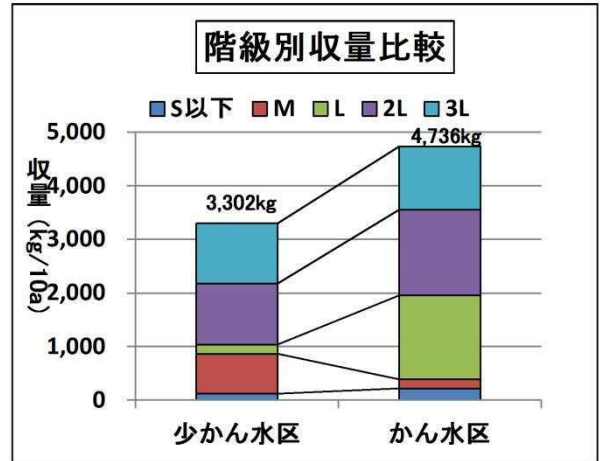
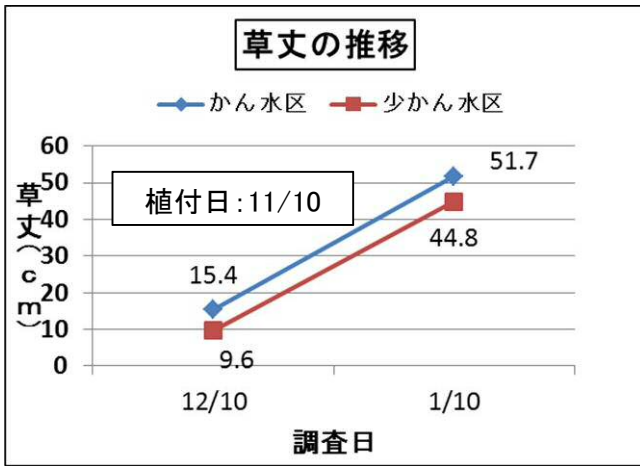
かん水がない場合は、植えてから出芽までの日数が不安定で、最も長い年は約1ヶ月を要している。

植付後かん水を行うことで、約2週間での出芽が確実になる。



○ばれいしょにおける現地実証結果

平成30年度 天城町兼久



【収穫時のいも肥大状況】

【経済性の比較】

区分	少かん水区	かん水区	比較
生産量 (kg/10a)	3,302	4,736	1,434
販売額 (円/10a)	432,562	620,416	187,854
農業経営費 (円/10a)	333,501	431,980	98,479
農業所得 (円/10a)	99,061	188,436	89,375

※販売単価は2月の市場価格を参考
農業経営費には畑かん経常賦課金を含む

